

路面凍結による転倒災害を防止しましょう！

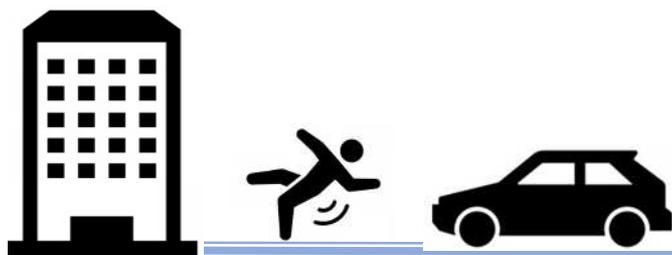
これからの季節、**積雪**や**路面凍結**により、**転倒リスク**が増大します。



1 災害事例

たかが転倒。と思っていませんか？
令和5年1月に当署管内で**転倒による死亡災害**が発生しています！

事業場敷地内に通勤車両を駐車して事務所まで徒歩で向かう途中、**前日からの降雪で凍結していた箇所**で**足を滑らせ後方に転倒**。起き上がったものの、その後、作業場内で倒れた状態で発見された。**死因は外傷性クモ膜下出血**であった。



<災害発生時のイメージ>

裏面に防止対策の一例を掲載しております！

2 冬季の転倒災害防止対策のポイント

積雪・凍結などの転倒災害のリスクが高くなる冬期間は、以下の対策が特に重要です。今年の冬は2つ、3つ組み合わせてお取り組みください！

天気予報をチェックする

寒波の到来等の情報を早めにグリッブしましょう。

駐車場の除雪・融雪を万全にする

駐車場内、駐車場から職場までの通路を安全な状態にするため除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、職場の出入口では転倒防止用マットを敷き（右の写真）、夜間は照明設備を設けて明るさ（照度）を確保しましょう。



<ヒートマットの設置例>

職場内危険マップを作成する

職場内で労働者が店頭の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への教育の機会でお伝えしましょう。

<滑りやすい場所を知ろう！>

駐車場出入口：車のタイヤで路面上が磨かれており、非常に滑りやすい場所があります。
 バス・タクシー乗り場：踏み固められていて、滑りやすくなっている場合があります。
 白線やマンホール、グレーチングの上：薄い氷膜が張っている場合があります。

教育を行う

作成した職場危険マップを活用して転倒危険箇所を共有したり、適切な履物を選択することや雪道や凍結路面の歩き方を教育してください。

～靴選びと歩き方～

気を付けて歩くペン！



<転倒を防止する靴選び>

柔らかいゴム底	滑り止め入りゴム底	深い溝	ピン・金具付き
接着力が強い	路面に引っかく	路面を噛む	氷を突き刺す

<転倒を防止する歩き方、キーワードは、「ペンギン歩き」です！>

○転びにくい歩き方	×転びやすい歩き方
小さい歩幅で歩く	背中を反ってダラッと歩く
靴の裏全体を路面につけて歩く	両手に荷物を持って歩く
左右の足幅を少し開けて歩く	ポケットに手を入れて歩く
急がず焦らず余裕をもって歩く	何かに気を取られる

冬季の転倒災害防止対策のポイントはこれだ！

このリーフレットは、労働者向けだペン！
冬は積雪・凍結による転倒のリスクが高まるので、この4つを確認して、急がず焦らず余裕をもって行動するペン！



天気予報をチェックしよう！

寒波の到来等の情報を早めにグリップし、出勤時間を繰り下げる、待機時間を繰り上げる等をしましょう。

滑りやすい場所を知ろう！

滑りやすい場所を知って、通らないようにしましょう。

駐車場出入口	バス乗り場	白線	マンホール
			
車のタイヤで路面上が磨かれ、非常に滑りやすい場所があります。	踏み固められ、滑りやすくなっている場合があります。	薄い氷膜が張っている場合があります。	薄い氷膜が張っている場合があります。

転倒を防止する靴を選ぼう！

柔らかいゴム底	滑り止め入りゴム底	深い溝	ピン・金具付き
			
<接着力が強い>	<路面に引っかく>	<路面を噛む>	<氷を突き刺す>
路面に対する接着力が強いので、滑りにくくなっています。	靴底ゴムに混ぜたガラス繊維などの滑り止め材が路面を引っかきます。	靴底のギザギザが路面を噛むため、滑りにくくなっています。	金具が氷を引っかき突き刺します。固く凍った路面で威力を発揮します。

転倒を防止する歩き方を学ぼう！

キーワードは、「ペンギン歩き」です！

- 歩幅が小さく、靴裏全体が地面についている。
左右の足幅を広くすると安定度が増します。
歩幅を狭め、すり足気味に歩きましょう！
- 両手が空き、背筋が伸びている。
極力、手に荷物を持たないようにしましょう！
- ×ポケットに手を入れる、両手に荷物を持つ、何かに気を取られることのないようにしましょう！

